



2022年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年10月13日

上場会社名 株式会社スタジオアタオ 上場取引所 東
 コード番号 3550 URL <https://www.studioatao.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀬尾 訓弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部 (氏名) 山口 敬之 TEL 03-6226-2772
 ゼネラルマネージャー
 四半期報告書提出予定日 2021年10月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第2四半期の連結業績（2021年3月1日～2021年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	1,773	△4.2	55	△73.2	54	△73.3	34	△72.9
2021年2月期第2四半期	1,852	△23.1	206	△61.6	205	△61.9	128	△65.6

(注) 包括利益 2022年2月期第2四半期 34百万円 (△72.9%) 2021年2月期第2四半期 128百万円 (△65.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第2四半期	2.49	—
2021年2月期第2四半期	9.79	9.69

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第2四半期	3,919	2,913	74.3
2021年2月期	4,262	2,934	68.8

(参考) 自己資本 2022年2月期第2四半期 2,913百万円 2021年2月期 2,934百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2022年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2022年2月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,500	△12.6	0	△100.0	0	△100.0	0	△100.0	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については本日（2021年10月13日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期2Q	14,037,000株	2021年2月期	14,007,000株
② 期末自己株式数	2022年2月期2Q	12,296株	2021年2月期	12,296株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期2Q	14,000,084株	2021年2月期2Q	13,103,095株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

決算補足説明資料はT D n e t 及び当社ウェブサイトで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、緊急事態宣言が再発出されるなど引続き経済活動が制限され、先行きが不透明な状況が継続しております。当社グループの主要な関連業界である百貨店等を含む小売業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大に伴う外出自粛や商業施設の休業、時間短縮営業等の影響により、厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループは、「ファッションにエンタテインメントを」を理念とし、オリジナルバッグ・財布等の提供を通じて「お客様に非日常のワクワク感を提供すること」を目指し、引続き販売促進費への投資やSNS活動の強化等を行っております。また、キャラクターブランドであるILEMERのブランド価値向上のための投資を継続し、サブライズ・ハッピードール等の商品や新ラインの拡充を図るとともに、テレビCM等によるプロモーションやクラウドファンディングの実施、アニメーションの公開等を行っております。加えて、当社グループの15周年を記念して、サステナビリティ等をテーマにした新ブランドである「StrawberryMe」の立ち上げをリリースいたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の販売業態別の売上高は、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大に伴う店舗の臨時休業や消費者の外出自粛等の影響を受けたものの、前第2四半期連結累計期間と比較して休業日数が減少したこと等により、店舗販売が637,604千円（前年同四半期比28.4%増）となった一方、オリンピックの開催等に伴う広告単価の上昇等による販売促進費のコントロールや新型コロナウイルス感染症の影響の長期化等の影響により、インターネット販売が1,098,949千円（同16.3%減）となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が1,773,689千円（前年同四半期比4.2%減）となり、売上高の減少及びILEMERブランドのテレビCMを含むプロモーションの実施等により、営業利益55,341千円（同73.2%減）、経常利益54,731千円（同73.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益34,796千円（同72.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産については、総資産は3,919,314千円であり、前連結会計年度末と比較して343,461千円減少しております。主な減少要因は、現金及び預金が246,585千円、売掛金が211,873千円減少したことです。

負債につきましては、負債合計は1,005,314千円であり、前連結会計年度末と比較して322,833千円減少しております。主な減少要因は、長期借入金が106,930千円、買掛金が52,806千円減少したことです。

純資産は2,913,999千円であり、前連結会計年度末と比較して20,627千円減少しております。主な減少要因は、利益剰余金が35,177千円減少したことです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、2,101,630千円となり、前連結会計年度末より246,585千円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用したキャッシュ・フローは54,439千円（前年同四半期比19,661千円の減少）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益57,052千円の計上、売上債権の減少額211,873千円及び法人税等の還付額62,108千円による資金の増加があった一方、たな卸資産の増加額224,280千円及び未払金の減少額137,215千円による資金の減少があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用したキャッシュ・フローは6,002千円（前年同四半期比1,651千円の増加）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出6,169千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用したキャッシュ・フローは186,143千円（前年同四半期は818,804千円の獲得）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出117,293千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の業績予想につきましては、2021年4月13日に公表した決算短信に記載の通り、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う再度の店舗臨時休業等は見込んでおりませんでした。しかしながら、その後の新型コロナウイルス

ス感染症の感染状況の悪化により2021年4月から5月にかけて店舗の臨時休業を実施し、また同年9月末までの間、全国各地で緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が繰り返し発令される中で、店舗営業再開後においても消費者の外出自粛等の影響が継続いたしました。

また、この様な状況下において、オリンピックの開催等に伴うインターネット広告の出稿等により広告単価が上昇したこと等を受けて、インターネット販売に係る販売促進費のコントロール等を実施しております。

以上の結果、これまでの実績及び今後の見通しを勘案の上、2022年2月期における売上高予想を3,500百万円（前年同期比12.6%減）に修正いたしました。

なお、今後も当面は消費者の外出自粛等の影響を受けると考えておりますが、ワクチン接種率の上昇等に伴い需要は徐々に回復していくものと想定しております。

また、通期の利益見通しに関しましては、引き続きATAO、IANNE及びILEMERブランドを中心とした必要な投資を継続していく方針であります。金額については従来からの予想から変更しておりません。

詳細につきましては、本日（2021年10月13日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,348,216	2,101,630
売掛金	554,132	342,259
商品	462,646	686,926
その他	180,676	90,785
流動資産合計	3,545,671	3,221,601
固定資産		
有形固定資産	160,524	155,551
無形固定資産	7,463	5,513
投資その他の資産		
長期前払費用	407,905	392,398
その他	141,209	144,249
投資その他の資産合計	549,114	536,648
固定資産合計	717,103	697,712
資産合計	4,262,775	3,919,314
負債の部		
流動負債		
買掛金	82,416	29,609
1年内返済予定の長期借入金	224,223	213,860
未払法人税等	435	28,984
ポイント引当金	25,562	25,260
その他	302,982	119,219
流動負債合計	635,620	416,933
固定負債		
長期借入金	653,077	546,147
退職給付に係る負債	14,760	17,518
資産除去債務	24,690	24,715
固定負債合計	692,528	588,380
負債合計	1,328,148	1,005,314
純資産の部		
株主資本		
資本金	391,686	398,961
資本剰余金	381,686	388,961
利益剰余金	2,161,591	2,126,414
自己株式	△338	△338
株主資本合計	2,934,626	2,913,999
純資産合計	2,934,626	2,913,999
負債純資産合計	4,262,775	3,919,314

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
売上高	1,852,318	1,773,689
売上原価	663,520	656,040
売上総利益	1,188,797	1,117,648
販売費及び一般管理費		
販売促進費	420,278	398,576
支払手数料	178,695	181,384
その他	383,041	482,345
販売費及び一般管理費合計	982,015	1,062,306
営業利益	206,782	55,341
営業外収益		
受取家賃	497	480
法人税等還付加算金	—	570
その他	83	72
営業外収益合計	580	1,122
営業外費用		
支払利息	2,306	1,733
営業外費用合計	2,306	1,733
経常利益	205,056	54,731
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2,723
助成金収入	26,404	9,400
特別利益合計	26,404	12,123
特別損失		
店舗休業損失	29,597	9,801
特別損失合計	29,597	9,801
税金等調整前四半期純利益	201,863	57,052
法人税、住民税及び事業税	62,833	22,740
法人税等調整額	10,772	△484
法人税等合計	73,606	22,256
四半期純利益	128,257	34,796
親会社株主に帰属する四半期純利益	128,257	34,796

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
四半期純利益	128,257	34,796
四半期包括利益	128,257	34,796
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	128,257	34,796
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	201,863	57,052
減価償却費	12,054	13,094
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,642	2,758
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	7,659	△301
支払利息	2,306	1,733
助成金収入	△26,404	△9,400
売上債権の増減額 (△は増加)	△193,205	211,873
たな卸資産の増減額 (△は増加)	24,945	△224,280
仕入債務の増減額 (△は減少)	42,085	△52,806
未払金の増減額 (△は減少)	△1,196	△137,215
その他の資産の増減額 (△は増加)	△10,045	20,287
その他の負債の増減額 (△は減少)	△26,630	△4,302
その他	9	△2,711
小計	35,083	△124,218
利息及び配当金の受取額	14	12
利息の支払額	△2,319	△1,741
助成金の受取額	26,404	9,400
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△133,284	62,108
営業活動によるキャッシュ・フロー	△74,101	△54,439
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,008	△6,169
差入保証金の差入による支出	—	△2,000
その他	△1,343	2,167
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,351	△6,002
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△117,517	△117,293
配当金の支払額	△63,678	△68,850
財務活動によるキャッシュ・フロー	818,804	△186,143
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	740,352	△246,585
現金及び現金同等物の期首残高	1,913,143	2,348,216
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,653,495	2,101,630

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社グループは、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大により、2021年4月25日から一部店舗の臨時休業を行っていましたが、同年6月1日までに全店舗の営業を再開しております。今後も当面は外出自粛等の影響を受けると考えておりますが、需要は徐々に回復していくものと仮定しており、当該仮定を繰延税金資産の回収可能性の判断及び固定資産の減損会計の適用に係る会計上の見積りに反映しております。なお、将来における実績値に基づく結果が、これらの見積り及び仮定とは異なる可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

当社グループの事業セグメントは、ファッションブランドビジネス事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)

当社グループの事業セグメントは、ファッションブランドビジネス事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。